

東芝リレーボックス取扱説明書

目 次

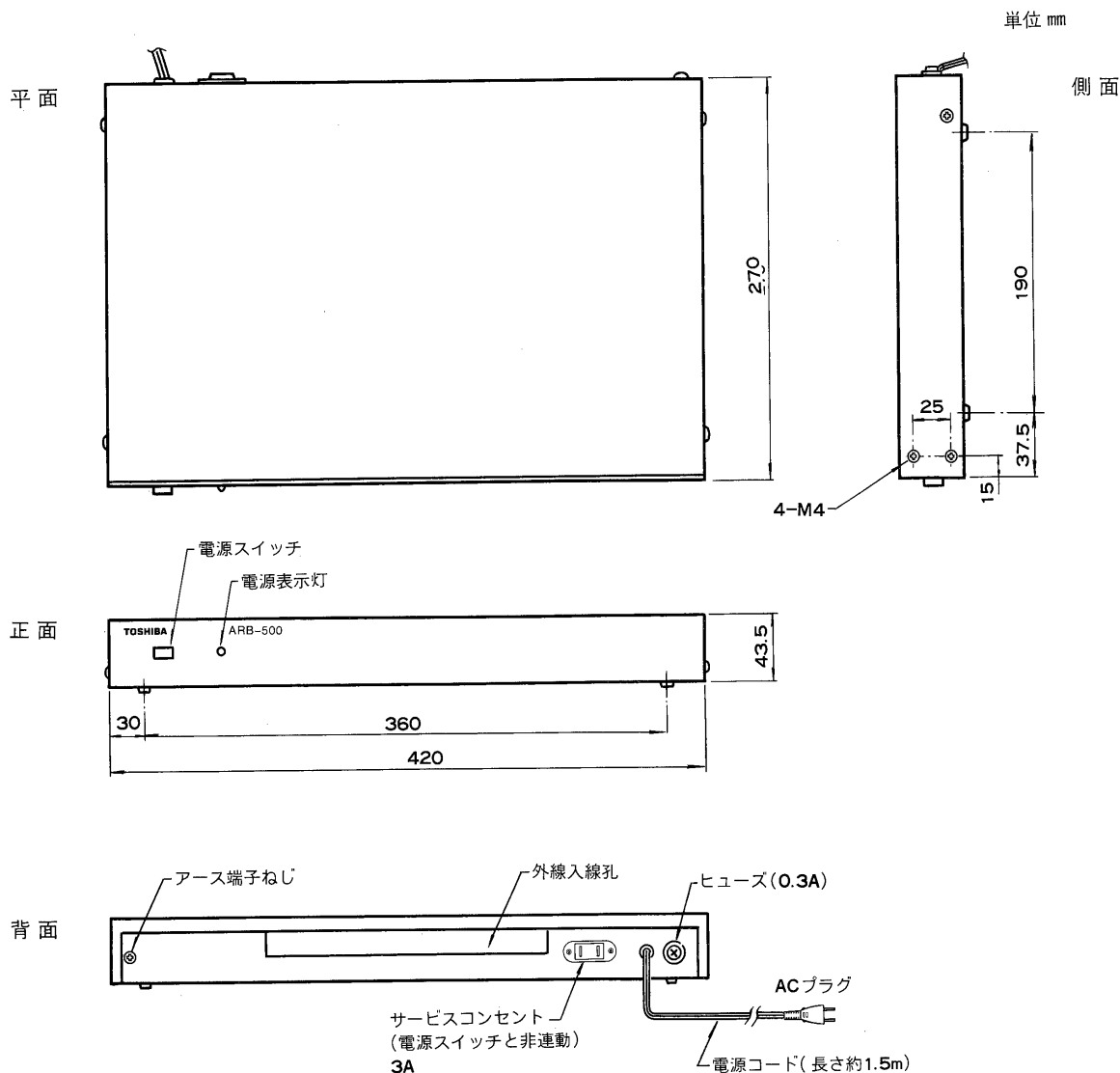
各部のなまえと大きさ	2
特にご注意を	2
設置のしかた	
ラックへの組み込みかた	3
増設出力制御基板の取り付けかた	4
接続のしかたと使いかた	
卓上形アンプと組み合わせて使用するときの接続方法	
5 シリーズ卓上形アンプの場合	5
4 シリーズ卓上形アンプの場合	6
卓上形アンプに接続したときの使いかた	6
デスク形アンプと組み合わせて使用するとき	7
デスク形アンプに接続したときの使いかた	7
機器接続図	
リモコン操作器、リレーボックス、時報チャイム、1元デスクアンプ間の接続	8 ~ 9
リモコン操作器、リレーボックス、時報チャイム、2元デスクアンプ間の接続	10
リモコン操作器、リレーボックス、時報チャイム、3元デスクアンプ間の接続	11
ロッカー形アンプと組み合わせて使用するとき	12
機器間接続	
10回線のときの接続	13
20回線のときの接続	14
30回線のときの接続	15
40回線のときの接続	16
業務用リモコンの接続	17
ロッカー形アンプに接続したときの使いかた	18
修理サービスについて	18
仕 様	18
リレーボックス回路図	19

TOSHIBA

東芝リレーボックス取扱説明書 ARB-500

このたびは東芝リレーボックスをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのリレーボックスを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになったあとは必ず保存してください。

各部のなまえと大きさ



特にご注意を

- 内部の改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- ヒューズは指定容量のもの(0.3A)と交換してください。
 - 針金や銅線をヒューズのかわりに使用しないでください。
- サービスコンセントは指定容量(3A)以内でご使用ください。
- 外線と接続するときは本機のACプラグをコンセントから抜いてから行ってください。
 - 回線数が多く接続線が多いときは保守がしやすいように回線数、接続機器がわかる表示や束線をおすすめします。
 - 接続が終わったら接続に間違いがないかどうか再度確認した上で電源を入れてください。
- 接続にあたっては接続機器の取扱説明書や設置要領書もよくお読みください。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
<生産完了 2006年02月09日>
ARB-500 (2 / 25)

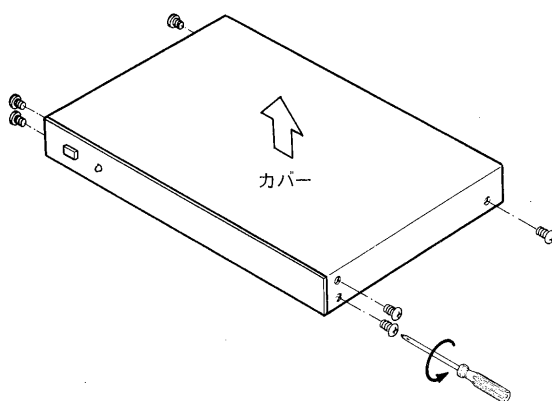
設置のしかた

- 本機は卓上形、ラック組み込み形いずれでもご使用できます。
- 卓上形でご使用の場合はそのまま机の上に置いてご使用ください。
- ロッカー形アンプやデスク形アンプに組み込んでご使用のときは次のようにして取り付けてください。

ラックへの組み込みのしかた

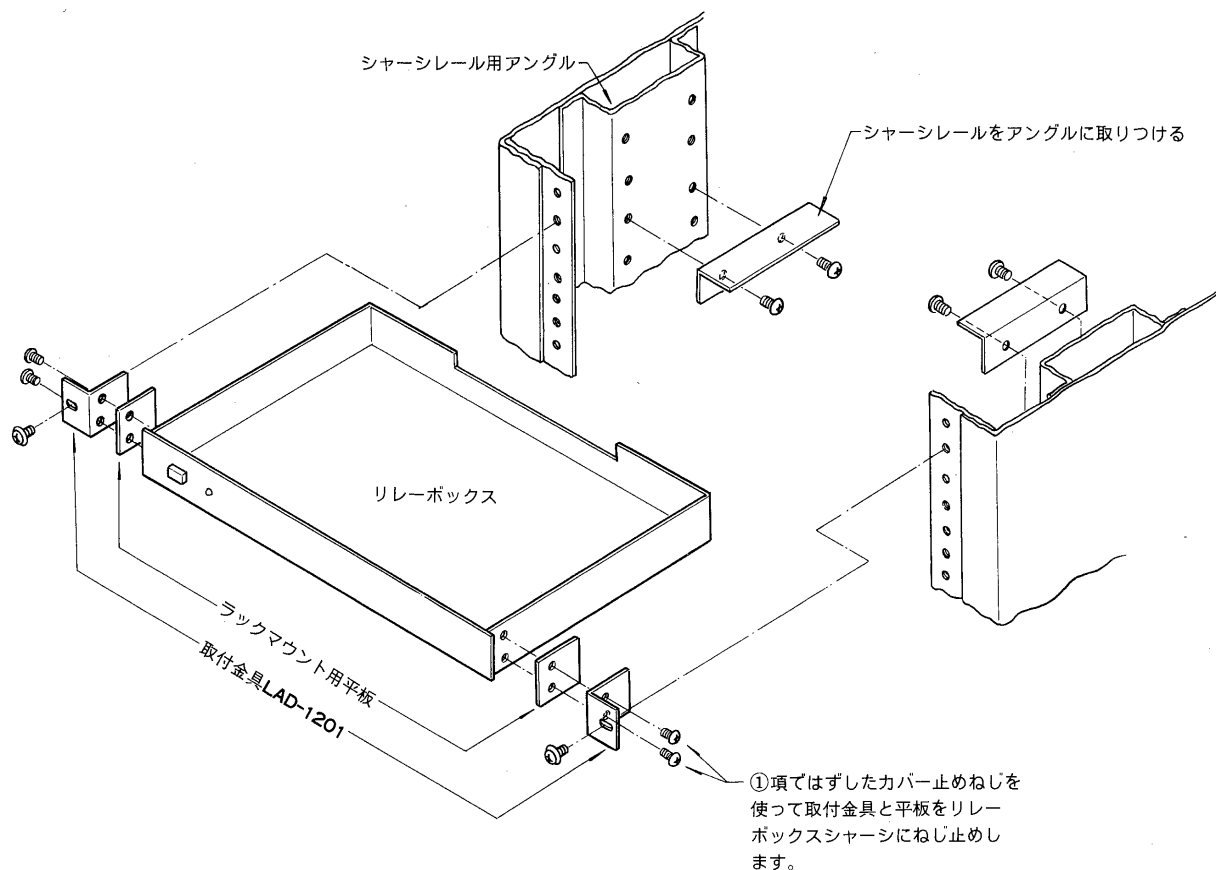
- ロッカー形アンプやデスク形アンプに組み込むときは別売の取付金具(EIA用LAD-1201)を使用し、次の手順で取りつけます。

①カバー止めねじをはずしカバーをとりはずしてください。



②本体に付属のシャーシレールをラックあるいはデスクアンプ袖に取りつけてください。

次に本機に付属のラックマウント用平板と取付金具(LAD-1201)を使って本機をラックあるいは袖に取りつけてください。



ご注意

- ラックマウントするときは取りはずしたカバーは使用しませんので保管しておいてください。
- 本機の取付寸法はEIA寸法となっていますのでJISラックへの取り付けはできません。

増設出力制御基板の取り付けかた

- 本機が装備している出力回路数は5回路です。
出力回路数を増設し6回路以上にするときは増設出力制御基板(ARBZ-500)が必要です。
本機は増設出力制御基板(ARBZ-500)を最大3枚まで組み込み20回路まで増設できます。
- 20回路をこえる場合は本機をもう1台ご使用ください。
- 増設出力制御基板は下図のように組み込んでください。

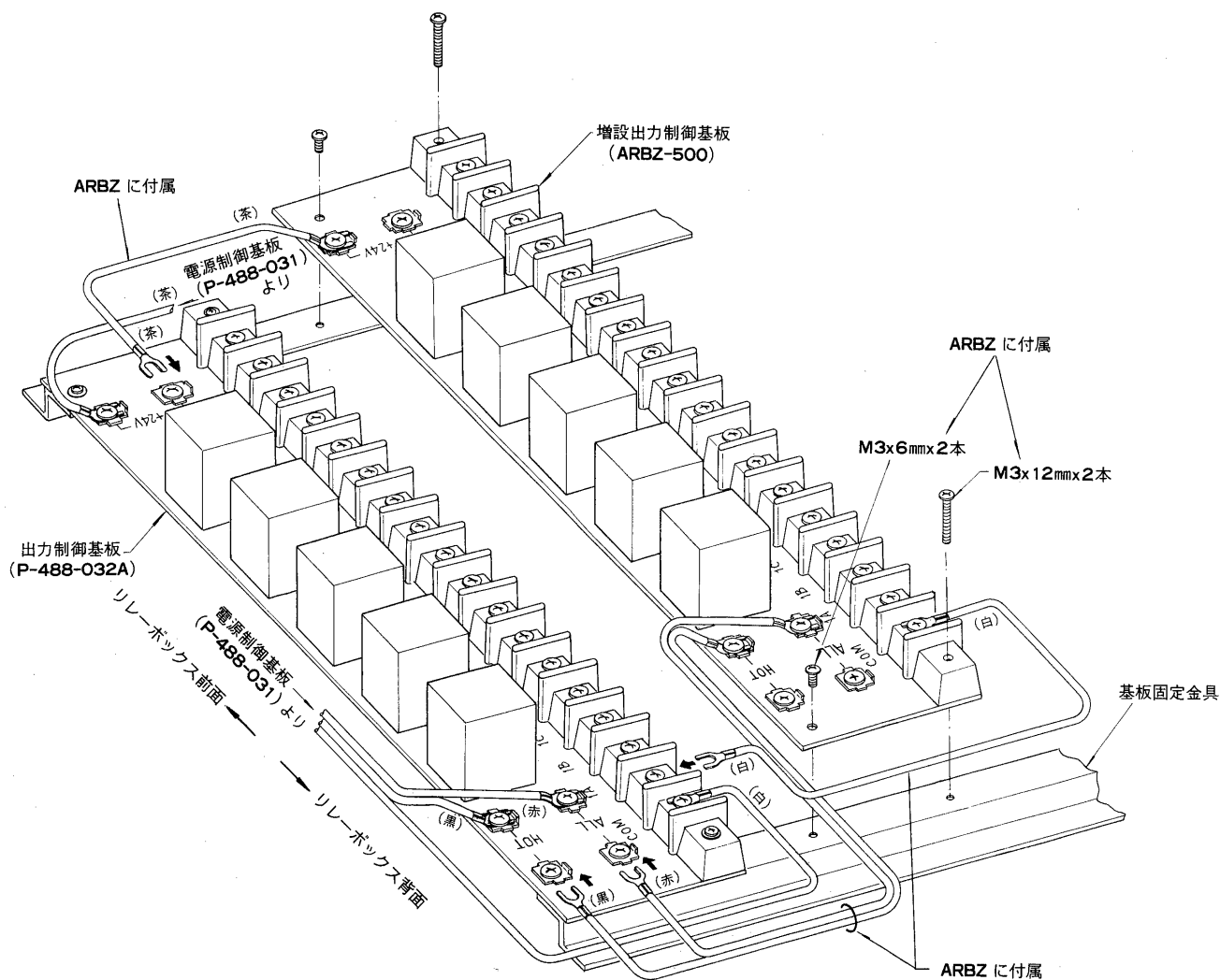


図1

- ①増設出力制御基板を付属の取付ねじ4本で図のようにリレーボックス(ARB-500)内部に取りつけてください。
- ②リレーボックス(ARB-500)内部に組み込まれている出力制御基板(P-488-032A)と組み込んだ増設出力制御基板(ARBZ-500)間を図のように4本の線(茶、赤、黒、白…ARBZに付属)で接続してください。
- ③増設出力制御基板(ARBZ-500)を2枚以上組み込む場合は増設出力制御基板どおしを②項と同様に接続してください。

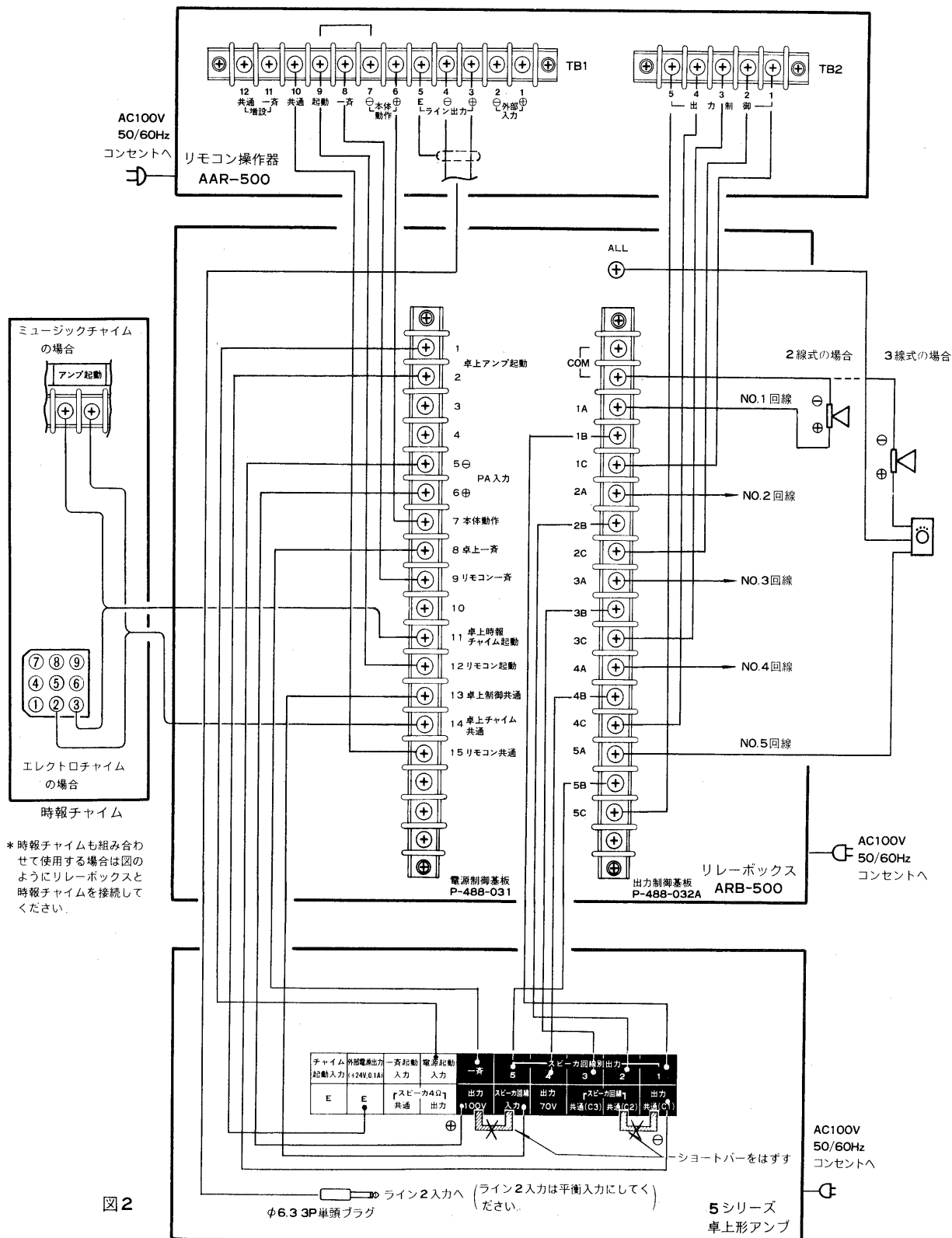
接続のしかたと使いかた

- 本機は卓上形アンプ、デスク形アンプ、ロッカー形アンプと接続して使用します。

いずれの場合もアンプ本体から離れた場所に業務用リモコン操作器を設置し、業務用リモコン操作器からもアンプ本体からと同様各回線を選択して放送するときに使用するものです。

卓上形アンプと組み合わせて使用するときの接続方法

- 5 シリーズ卓上形アンプの場合





- 通常使用しないときは卓上形アンプおよびリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチは「切」にしておきます。
- 卓上形アンプから放送するときはリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチを「入」にしてください。卓上形アンプの電源も入ります。卓上形アンプの出力選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- 業務用リモコン操作器から放送するときはリモコン操作器の電源スイッチを「入」にしてください。リレーボックス(ARB-500)と卓上形アンプの電源が入ります。リモコンの出力選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- 時報チャイムを接続してご使用の場合、時報チャイムが作動すると卓上形アンプ、リレーボックス(ARB-500)の電源が入り全回線一斉に時報チャイムが放送されます。
- 卓上形アンプ、リモコン操作器の使いかたはそれぞれの機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

デスク形アンプと組み合わせて使用するとき

- 1元デスクアンプ、2元デスクアンプ、3元デスクアンプの各デスクアンプと組み合わせて使用するときに必要な機器と接続方法は下表のとおりです。

出力系統	業務用リモコン	必 要 機 器	接続方法
10回線 1 系統	5 回線	1 元デスクアンプ(ADA-1003, 1203)..... 1 5 回路用リモコン操作器(AAR-500)..... 1 リレーボックス(ARB-500)..... 1	図 4
	10回線	1 元デスクアンプ(ADA-1003, 1203)..... 1 10回路用リモコン操作器(AAR-1000)..... 1 リレーボックス(ARB-500)..... 1 増設用出力制御基板(ARBZ-500)..... 1	図 5
10回線 2 系統	20回線	2 元デスクアンプ(ADA-2003)..... 1 10回路用リモコン操作器(AAR-1000)..... 1 リモコン増設スイッチボックス(ASZ-1000)..... 1 リレーボックス(ARB-500)..... 2 増設用出力制御基板(ARBZ-500)..... 2	図 6
10回線 3 系統	30回線	3 元デスクアンプ(ADA-3003)..... 1 10回路用リモコン操作器(AAR-100)..... 1 リモコン増設スイッチボックス(ASZ-1000)..... 1 " 用増設スイッチ(AZZ-1000)..... 1 リレーボックス(ARB-500)..... 3 増設用出力制御基板(ARBZ-500)..... 3	図 7

図 4～7 に従って各機器の組み込み、接続をしてください。

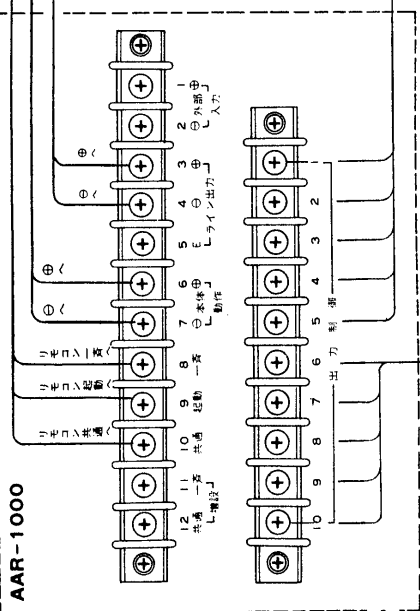
デスク形アンプに接続したときの使いかた

- 通常使用しないときはデスク形アンプおよびリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチは「切」にしておきます。
- デスク形アンプから放送するときはリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチを「入」にしてください。
2,3元デスクアンプのようにリレーボックスを2台接続して使用の場合は全部のリレーボックスの電源スイッチを「入」にしてください。デスク形アンプの電源が入ります。
デスク形アンプの出力選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- 業務用リモコン操作器から放送するときはリモコン操作器の電源スイッチを「入」にしてください。
リレーボックス(ARB-500)およびデスク形アンプの電源が入ります。
リモコン操作器の出力選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- 時報チャイムも接続してご使用の場合、時報チャイムが作動するとデスク形アンプの電源が入り、全回線一斉に時報チャイムが放送されます。
- デスク形アンプ、リモコン操作器の使いかたはそれぞれの機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

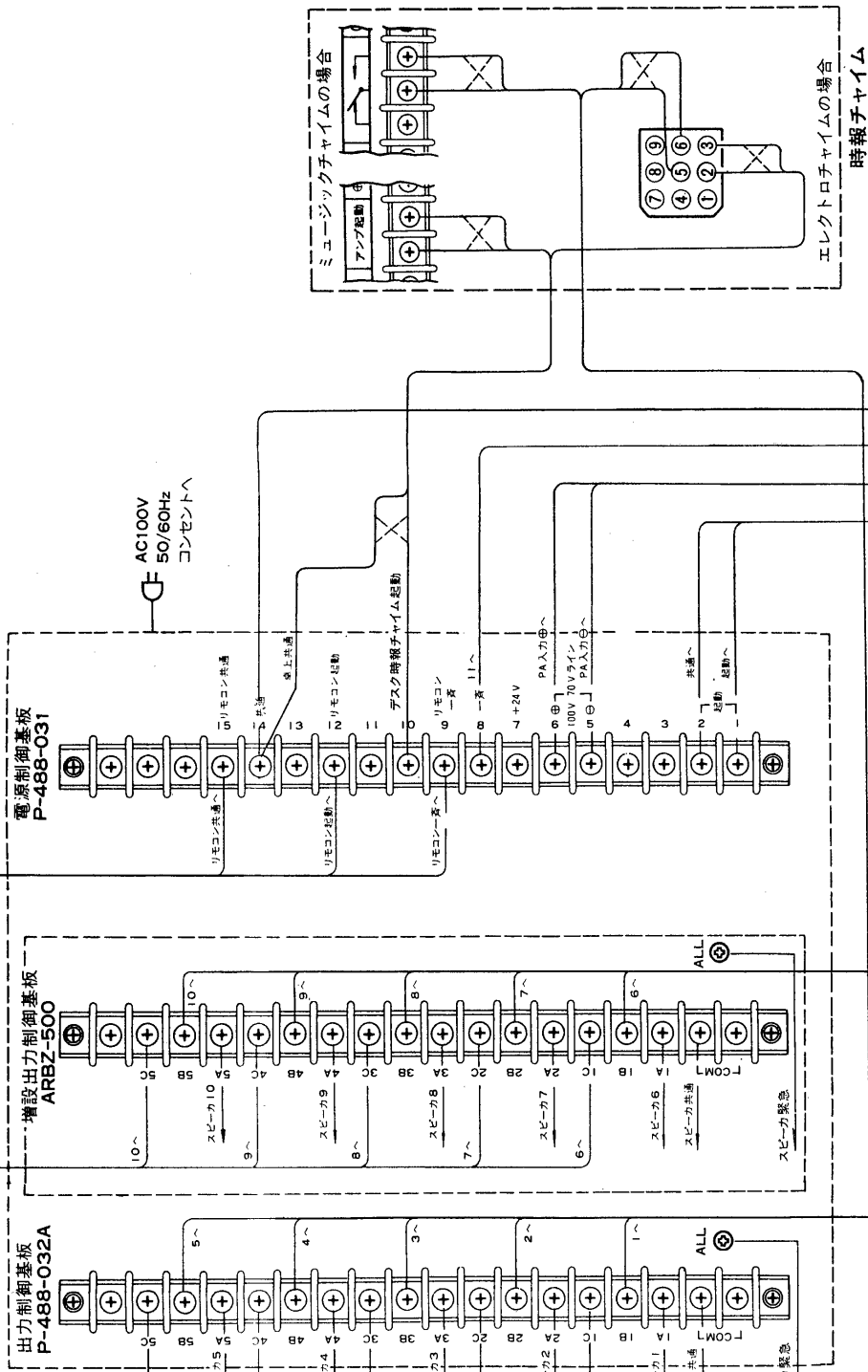
ご注意

- 2,3元デスクアンプの場合、デスク形アンプからは系統毎の一斉放送ができますが、リモコン操作器からはできず全回線一斉となります。

リモコン操作器

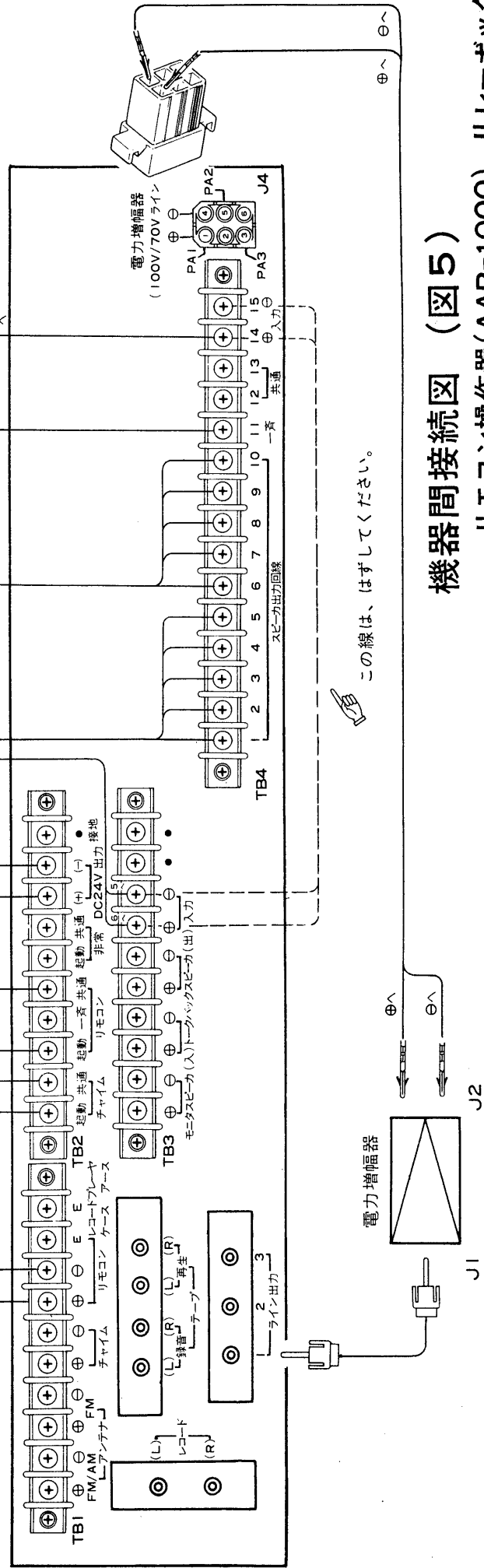


リレーボックス ARB-500



*時報チャイムも組み合わせて使用する場合は図のように時報チャイムとリレーボックスおよびデスクアンプを接続してください。

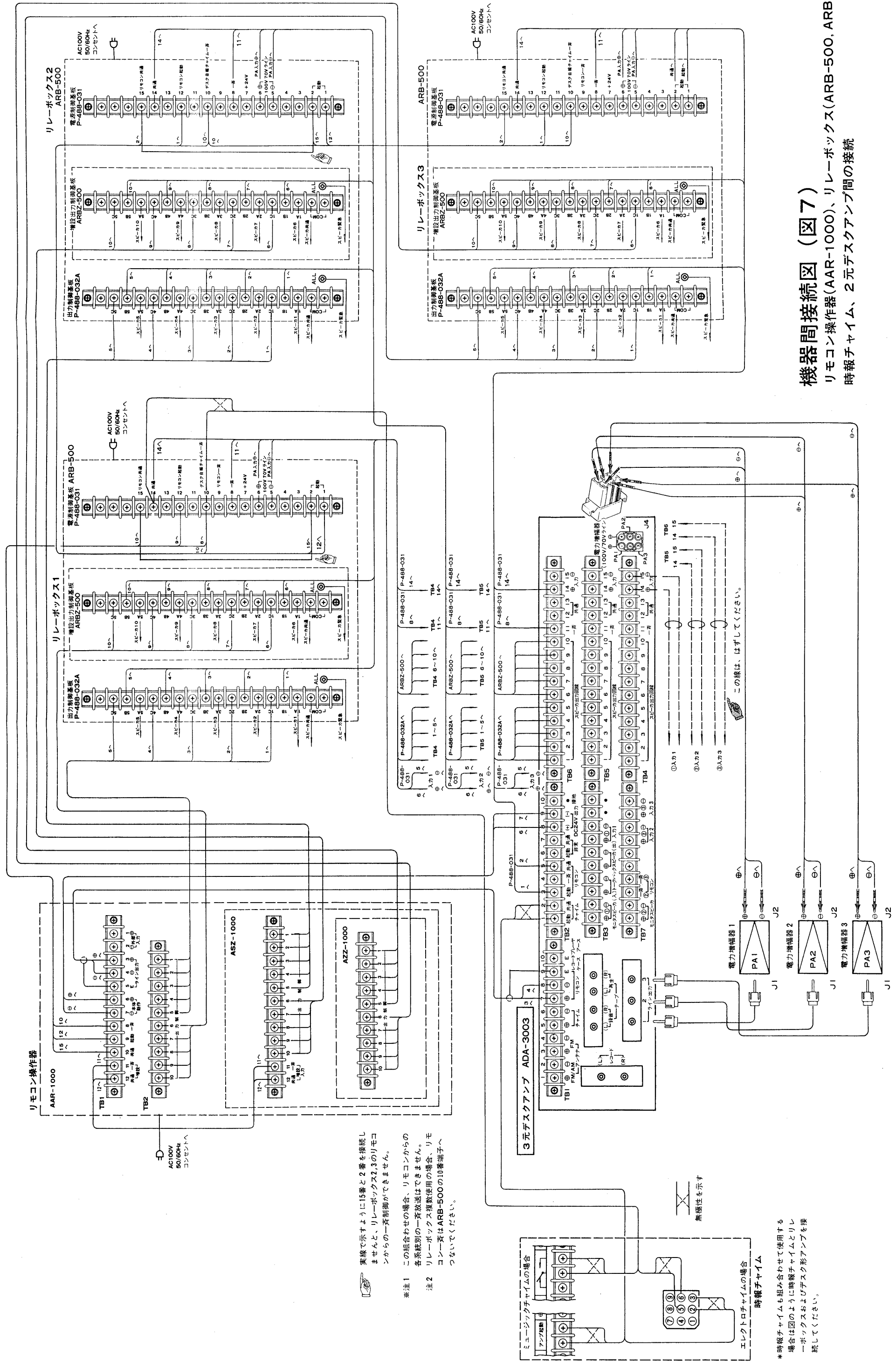
1元デスクアンプ ADA-1003, 1203



この線は、はずしてください。

機器間接続図 (図5)

リモコン操作器 (AAR-1000)、リレーボックス (ARB-500, ARBZ-500)、時報チャイム、1元デスクアンプ間の接続



※注1 この組合わせの場合、リモコンからの
各系統別の一斉放送はできません。
※注2 リレーボックス複数使用の場合、リモ
コン一斉はARB-500の10番端子へ
つないでください。

*時報チャイムも組み合わせて使用する
場合は図のように時報チャイムとリレ
ーボックスおよびデスクアンプを接
続してください。

機器間接続図 (図7)
リモコン操作器(AAR-1000)、リレーボックス(ARB-500, ARBZ-500)
時報チャイム、2元デスクアンプ間の接続

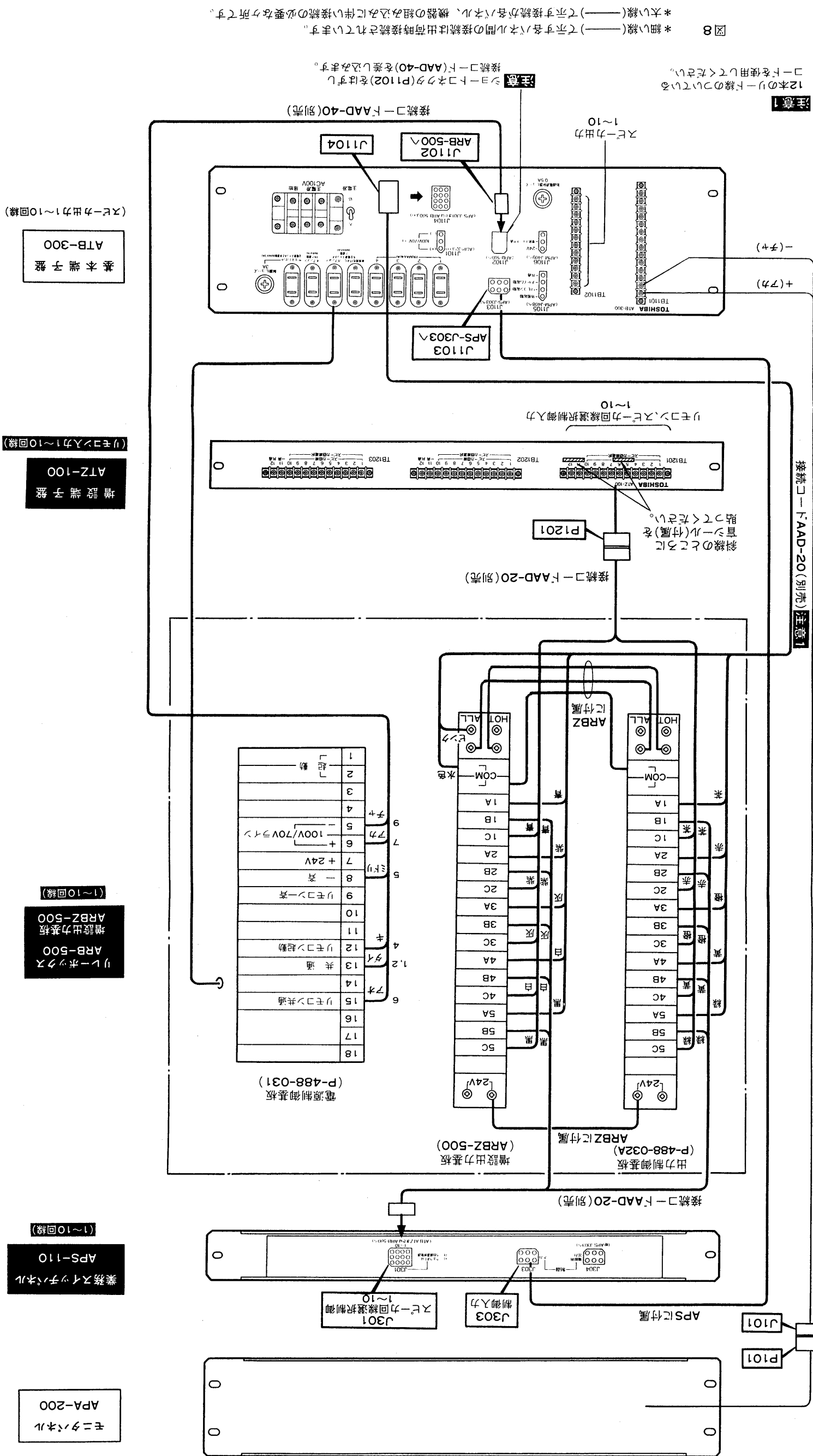
ロッカー形アンプと組み合わせて使用するとき

- ロッカー形業務専用アンプ(ALM-1500, 2000シリーズ)と組み合わせて使用するとき、回線ごとに必要となるパネル増設端子盤、リレーボックス、増設出力基板、接続コードおよび接続方法は下表のとおりです。

回線数	必要なパネル、増設端子盤、リレーボックス、増設出力基板、接続コード			接続方法	備 考
	商 品 名	形 名	台 数		
10	業務スイッチパネル	APS-110	1	図 8	●リレーボックスをラックに組み込むために取付金具(LAD-1201)が必要で す。
	リレーボックス	ARB-500	1		
	増設出力基板	ARBZ-500	1		
	増設端子盤	ATZ-100	1		
	接続コード	AAD-20	1		
	"	AAD-40	1		
	リレーボックス取付金具	LAD-1201	1		
20	業務スイッチパネル	APS-120	1	図 9	●接続コードAAD-20は 10回線毎に1ヶ必要です。 AAD-40は回線数に関係 なく1ヶ必要です。
	リレーボックス	ARB-500	1		
	増設出力基板	ARBZ-500	3		
	増設端子盤	ATZ-100	1		
	接続コード	AAD-20	2		
	"	AAD-40	1		
	リレーボックス取付金具	LAD-1201	1		
30	業務スイッチパネル	APS-110, 120	各 1	図10	●2台のリレーボックス間 の接続コードがAAD-30 です。 ●増設端子盤(1台)の前面 にはカバー用のブランク パネルが必要です。
	リレーボックス	ARB-500	2		
	増設出力基板	ARBZ-500	4		
	増設端子盤	ATZ-100	2		
	接続コード	AAD-20	3		
	"	AAD-30	1		
	"	AAD-40	1		
	リレーボックス取付金具	LAD-1201	2		
40	業務スイッチパネル	APS-120	2	図11	●増設端子台(2台)の前面 にはカバー用のブランク パネルが必要です。
	リレーボックス	ARB-500	2		
	増設出力基板	ARBZ-500	6		
	増設端子盤	ATZ-100	3		
	接続コード	AAD-20	4		
	"	AAD-30	1		
	"	AAD-40	1		
	リレーボックス取付金具	LAD-1201	2		

- 10回線、20回線、30回線、40回線それぞれの時のパネル、機器間の接続は図8～11に示します。
これに従って各機器、パネルを組み込み、接続してください。

●業務スィッチパネル(APS-110)、リレーボックス(ARB-500)、増設出力基板(ARBZ-500)、増設端子盤(ATZ-100)をラックに組み込んだ後、付属のコードを使って図のように各パネル、機器を接続してください。



* 太い線(——)で示す接続が各パネル、機器の組み込みに伴い接続の
* 細い線(——)で示す各パネル間の接続は出荷時接続されています。

注意 ショートコネクタ(P1102)をはずし
接続コード(AAD-40)を差し込みます。

12本のリーフ線がついている
コードを使用してください。

注意！

又E°-出力
1~10

接続口—AAD-40(別売)

(又出力1~10回線)

基本端子盤
ATB-300

(リモコン入力1~10回線)

ATZ-100

(10回分)

リレーボックス
ARB-500
増設出力基板
ARBZ-500

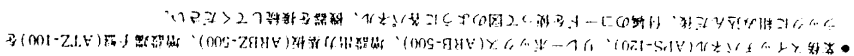
(10回分)

業務人オツチハナル

APA-200
モニタール

フックに組み込んだ後、付属のコードを使って図のように各パネル、機器を接続してください。





40回線のときのバル間接続

OSHIBA

ロッカー形アンプに接続したときの使いかた

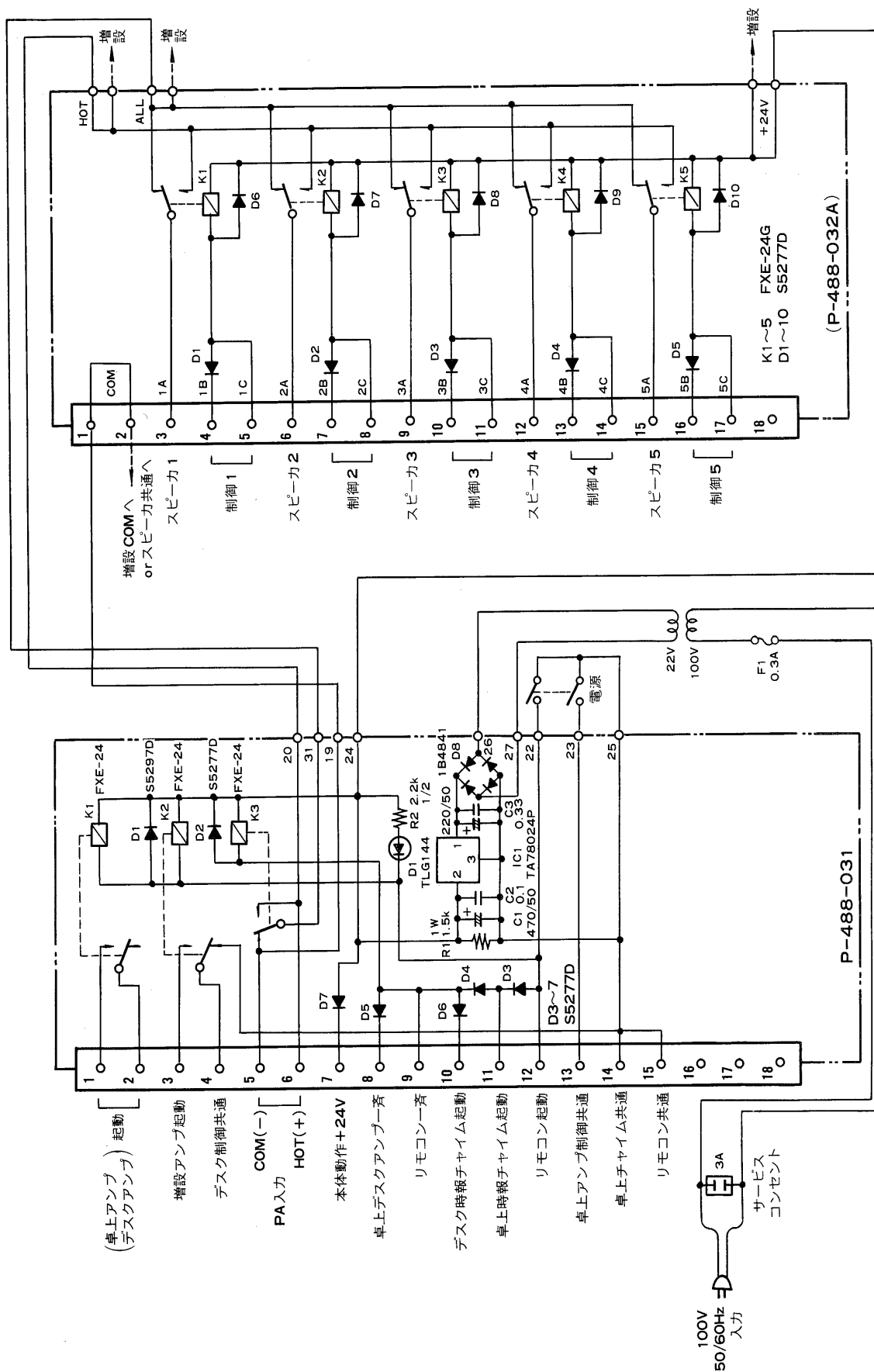
- 通常使用しないときはロッカー形アンプおよびリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチは「切」にしておきます。
- ロッカー形アンプから放送するときはリレーボックス(ARB-500)の電源スイッチを「入」にしてください。ロッカー形アンプの電源が入ります。
ロッカー形アンプが21回線以上でリレーボックスを2台接続してご使用の場合は、どちらかのリレーボックスの電源スイッチを「入」にしてください。残りのリレーボックスおよびロッカー形アンプの電源が入ります。
ロッカー形アンプのスピーカ回線選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- 業務用リモコン操作器から放送するときはリモコン操作器の電源スイッチを「入」にしてください。
リレーボックス(ARB-500)およびロッカー形アンプの電源が入ります。
リモコン操作器の出力選択スイッチで放送先を選択して放送してください。
- ロッカー形アンプ、リモコン操作器の使いかたはそれぞれの機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときはお使いになるのをやめ、お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは機器の形名(ARB-500)、組み合わせてご使用の機器の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕 様

使 用 電 源	A C 100V 50/60Hz	
消 費 電 力	12W以下	
入 力 回 路	PA入力 1回路 入力容量 600W以下	
出 力 回 路	本体動作表示(DC24V) 1回路	
スピーカ出力	個別…5回路、緊急(一斉)…1回路 出力容量 120W/回路以下(5回路のとき)	
制 御 回 路	電源起動 AC100V 7A以下(抵抗負荷) 2回路 卓上アンプ { 個 別……5回路、一斉……1回路 チャイム……1回路 デスクアンプ { 個 別……5回路、一斉……1回路 リモコン {	
増 設 回 路	通常(+) 1端子 スピーカ関係 { 緊急(一斉) 1端子 共通(-) 1端子 制御電源 DC24V 1端子	
表 示 装 置	電源表示(緑色発光ダイオード) …… 1回路	
塗 装 色	パネル：オフブラックメタリック塗装 ケース：グレー	
重 量	約 4 kg	
付 属 品	シャーシレール…………… 2	シャーシレール取付ねじ…………… 4
	ラックマウント用平板…………… 2	ヒューズ(0.3A)…………… 1
	取扱説明書…………… 1	東芝お客様ご相談センター一覧表… 1

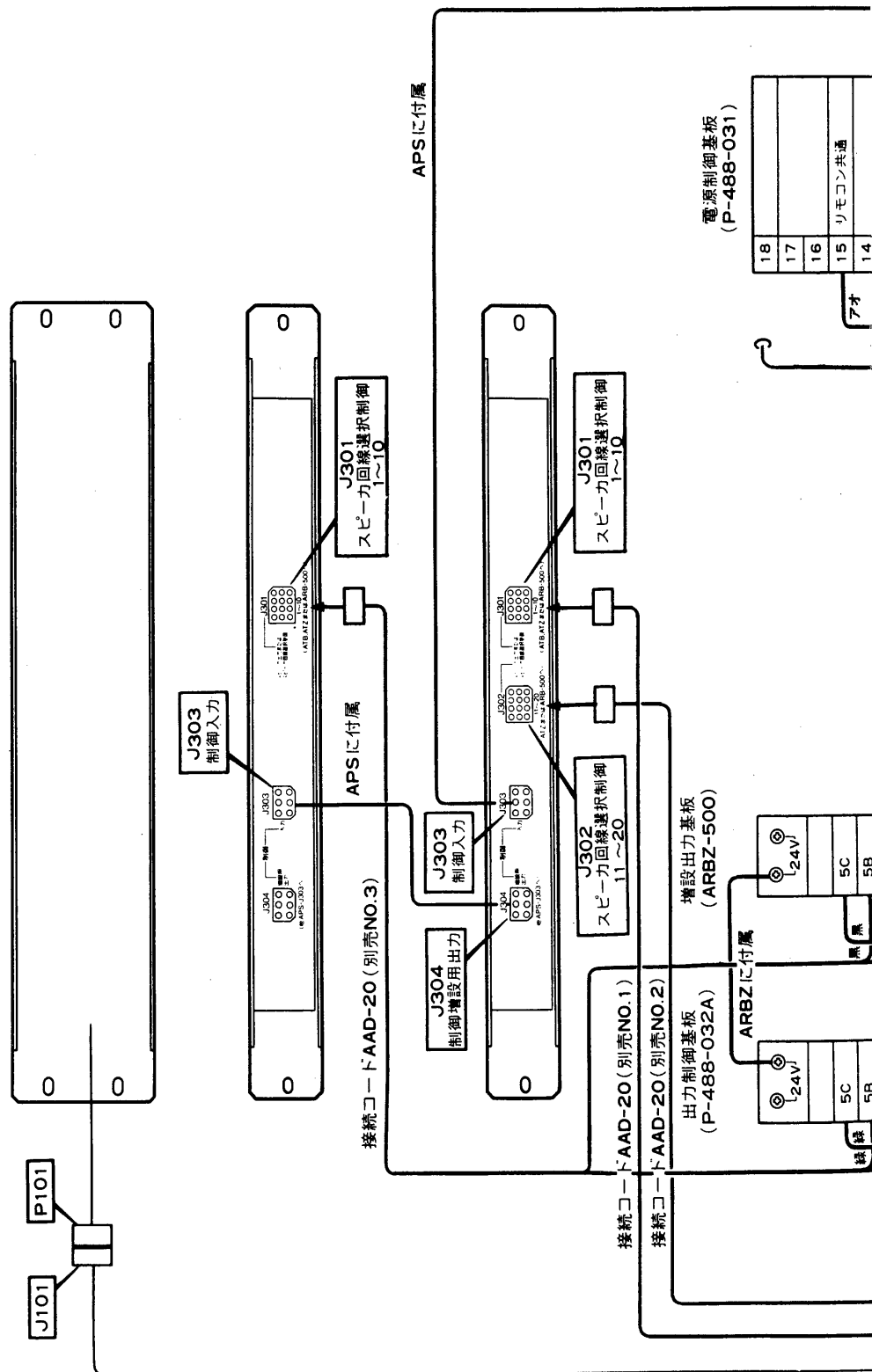


- 指示なき抵抗の単位はΩ、容量は1/4Wを示す。
- 指示なきコンデンサの単位はμF、耐圧は50Vを示す。
- 改良のため変更することがあります。
- 増設出力制御基板(ARBZ-500)の回路は上記の制御基板(P-488-032A)と同じです。

東芝リレーボックス(ARB-500)回路図

30 回線のときのパネル間接続

- 業務スイッチパネル(APS-110,APS-120)、リレーボックス(ARB-500)、増設出力基板(ARBZ-500)、増設端子盤(ATZ-100)をラックに組み込んだ後、付属のコードを使って図のように各パネル、機器を接続してください。



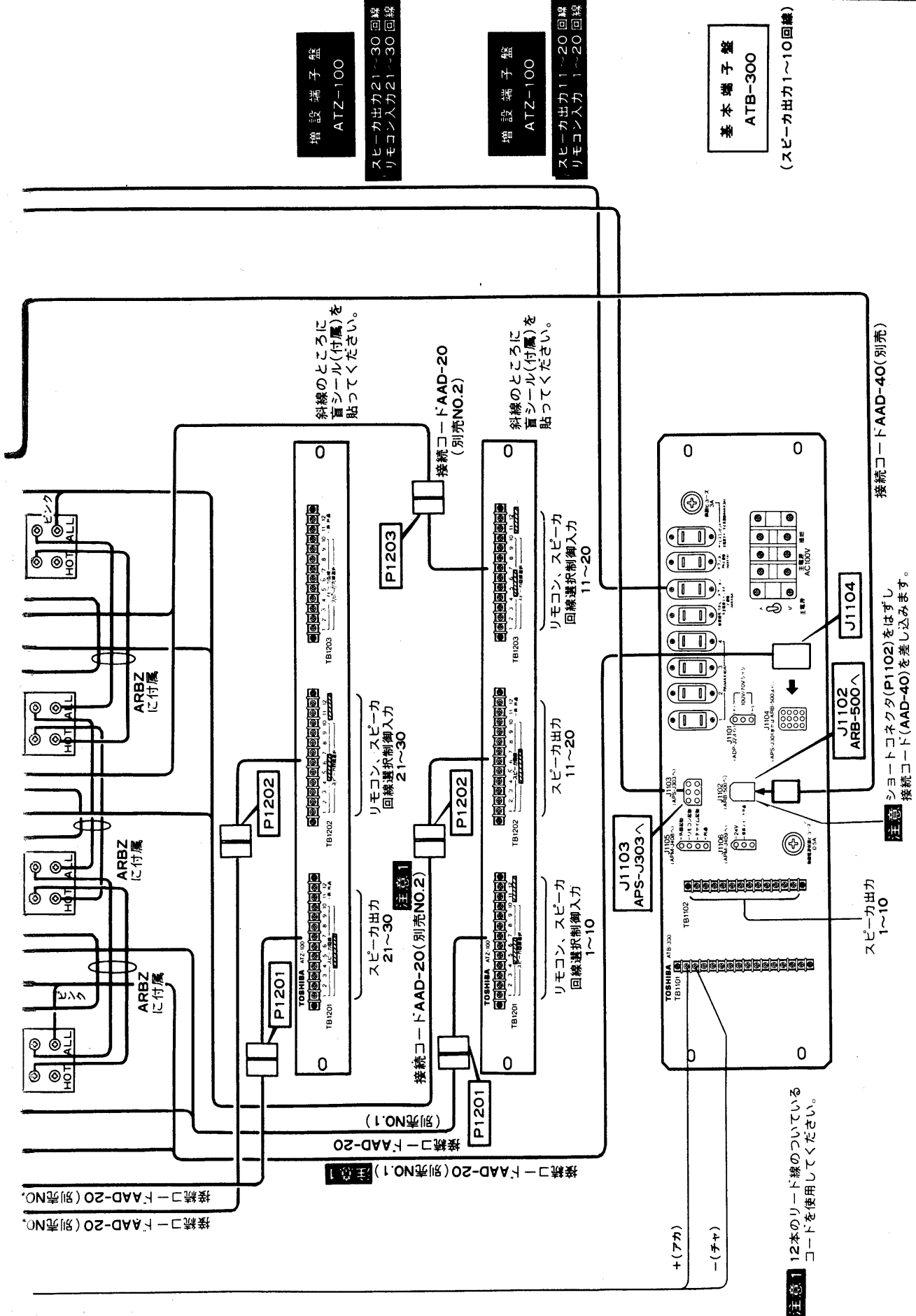


図 10

40 回線のときのパネル間接続

- 業務スイッチパネル(APS-120)、リレーボックス(ARB-500)、増設出力基板(ARBZ-500)、増設端子盤(ATZ-100)をラックに組み込んだ後、付属のコードを使って図のように各パネル、機器を接続してください。

